

令和3年度神戸市人と猫との共生推進協議会 第3回定例会議録

1. 日 時

令和4年3月15日（火）14:00～16:00

2. 場 所

3. 出席者

(1) 構成団体 11 団体の内 7 団体出席（規約第 6 条第 2 項の規定により会議成立）

(2) 出席者氏名 資料 1 出席者名簿のとおり（一般傍聴者 0 名）

4. 議 事

【報告事項】

(1) 野良猫の繁殖制限事業について（令和4年2月末現在）資料 P2～7

・本年度に地域猫活動等の支援申込は 159 件あり、申込による手術の対象猫の数は 786 匹であった。情報提供は、65 件あった。

・一方、今年度も含め、既に支援を行った地域から猫の TNR について追加で申込があった地域は 270 件あった。

・事業部会で承認し、支援を行ったのは、今年度に新規支援申込があった地域が 169 件、過去の年度に申込があり今年度支援した地域が 22 件あり、計 191 件だった。なお、このうち重複している地域は 54 件あった。

・今年度も含め既に支援をおこなった地域で、追加の申請があり、本年度 TNR を行った地域が 270 件あった。

・手術については、全市で 332 の地域に対し 1,881 匹実施し、3 月の猫管理票の発行状況から最終的に 2,000 匹を超えると考えられる。手術の実施地域数、手術数とも垂水、長田、北、西区が多くなっている。

・雌雄の別では、雄 898 匹に対し雌 983 匹とほとんど差はない。

・TNR の検証として、年度ごとに新規で支援を受けた地域について、翌年度以降の手術数の増減を調べたが、いずれの年度も、翌年度以降減少し続けている。一方、年度ごとの新規の手術数は、初年度の H29 年度を除きいずれの年度も 1,000 匹程度で減っていないが、こちらも減少に転じればより効果が出ていると考えられる。

・協議会事業の実績をプロットマッピングで見える化した。支援状況マップでは、市街地での支援申込や情報提供が多く、特に中央区から垂水区にかけて多いことがわかる。また、手術状況マップでは、申請マップと同様に市街地に大きな円が重なり、特に中央区から垂水区にかけて TNR 活動が盛んなことがわかる。

(2) 寄付・募金について…資料 P8

・3月10日現在、5,780,961 円の寄付、募金があった。構成団体のフェリシモ、あいおいニッセイ同和損保からも寄付をいただいている。

・会長から1月に寄付をいただいたあいおいニッセイ同和損害保険株式会社に感謝状を贈呈した。

(3) 神戸新聞社担当者の変更

・人事異動により岸本信也氏から木村信行氏に変更

(4) 協議会主催の譲渡会の開催…資料 P9

・4月24日(日)にこうべ動物共生センターで開催予定。構成団体の獣医師会のペット健康相談やネスレピュリナの VR や試供品の提供も予定。

【協議事項】

(1) 令和4年度事業計画暫定案…資料 P9

・例年通り野良猫に関する情報を基に毎月1回開催する事業部会で繁殖制限対策区域を策定し、TNRを進めていく。手術数としては、当初予算の見込みから1,850匹程度を予定している。このほか、TNRの検証、協力者の募集、登録も引き続き実施する。

・ガイドラインの周知、不適正な給餌者に対する指導啓発の実施とともに、コロナの状況を踏まえながら研修会やイベントの開催も検討する。

・協議会主催の譲渡会をコロナの動向を見守りながら開催の検討をする。このほか、市内の譲渡会の開催情報を提供していく。

・定例会議、事業部会の開催や寄付金、募金集め、神戸市との連携や情報の共有を図っていく。

(2) 来年度の予算暫定案…資料 P11

・収入として、17,300,000円を見込んでいる。内訳は、神戸市からの補助金として13,219,000円(予定。昨年度と同額計上)、このほか、繰越金として1,315,000円、募金、寄

付として2,715,555円を見込んでいる。

・支出として、1,850匹分の野良猫の繁殖制限事業として16,324,000円、指導啓発として60,000円、猫の譲渡推進事業として120,000円、定例会議費として66,000円、事務費として500,000円、保険料130,000円、予備費として100,000円で収入と同額の合計17,300,000としている。

・参考として、令和3年度の収支予算見込みを12ページに記載している。

※令和4年度事業計画暫定案、予算暫定案ともに承認された。

【連絡事項】

(1) 神戸市より

・条例の取組状況のほか、条例施行後の検証について取りまとめたものの報告があった。殺処分の減少、トラブルの減少はできたが、餌やりの苦情は続いており、今後も継続して啓発の必要性があるとのことであった。

(2) 出席者より

・譲渡会での高齢者への制限などハードルが高くなり、結果としてペットショップに流れている。行政も含めて譲渡条件を緩和する必要がある。

多頭飼育は崩壊すると大きな問題になり、野良猫問題と双璧であることから、早期対応するためにも行政は関係部局と連携して対応してほしい（猫ネット）。

・協議会事業も5年を経過したので、来年度以降はテーマを決めて調査研究を行いたい（獣医師会）。関係者にあたり、調査の手法等を検討する（動物福祉協会）。市としても、今後こういった方向を目指すのか示してもらいたい（Knots）。

・申請マップや手術マップは年度ごとに累計で記載しているが、各年度でどこの地域で申請や手術が多かったのかも知りたいので、年度ごとのマップも作成してほしい（Knots）。

・保護活動団体の中には、TNRの際にワクチン接種もしているが、動物管理センターを使った手術には、公費で接種をお願いしたい（猫ネット）。複数回接種でないと効果がない、

麻酔直後のワクチン接種はストレスがあり、致死につながることもあるなど課題もある（獣医師会）。